

第
14.12.7
196

大統領大臣 着禮渾少郎
警備司令官 義地慎之助
社務局長官 長田隆一郎
憲兵司令官 松井政三郎
北海道支那大臣 佐藤慶祐
津嘉川海千尋 境玉禪馬
長野山梨右衛門 神長官
東京地方裁判所檢事司 田代

監視總監 太田政弘

大正十四年十二月四日

大正十五年五月五日

右及申(通)報候也

四、定期年給(六月十二月)全額二 付シテ行フコト		要求内容 謝
五、公傷鷹合日給全額三 醫藥金/会社負担 差場ニ設置スルコト	一	傷害、場合二日給全額及枚急用 各職場ニ設置ノコト
六、傷害手当支給及被差額 一週間三千分之一遅延支給ノコト	一	傷害、場合二日給全額及枚急用 各職場ニ設置ノコト
七、一週間三千分之一遅延支給ノコト	一	傷害、場合二日給全額及枚急用 各職場ニ設置ノコト
八、臨時休業及会社創立紀 念日二日給全額支給ノコト	一	傷害、場合二日給全額及枚急用 各職場ニ設置ノコト
九、失業名リ出サハルニト <small>解雇者ハ半減スルコト スル下但シ解雇者三人又百四十人 相当額ヲ新規予歎勧手当下シ一年半三給ス</small>	一	傷害、場合二日給全額及枚急用 各職場ニ設置ノコト 相当額ヲ新規予歎勧手当下シ一年半三給ス 今後本固基ニ半解雇者ヲ出サズ 但シ解雇者三人又百四十人 相当額ヲ新規予歎勧手当下シ一年半三給ス